

# 中井だより

中井やまゆり園

## ごあいさつ

地域支援課課長補佐 高木 英史

中井やまゆり園利用者の皆様、こんにちは。また、ご家族の皆様は、はじめまして。4月から地域支援課の課長補佐に就任しました高木と申します。

3月までは、県庁の地域福祉課にて、権利擁護や民生委員、地域福祉の推進に関わる業務に携わっていました。私は、県に入庁し最初の勤務地が津久井やまゆり園でしたが、その後、様々な所属での勤務を経て、約20年ぶりに障害者施設での勤務となります。

この間、障害福祉を巡って様々な出来事がありました。その中でも、平成28年7月26日に津久井やまゆり園で発生した事件について、その日、出勤前のテレビで知った時の衝撃は今でも忘れられません。事件をきっかけに、本県では、県議会と共同して「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定し、津久井やまゆり園の再生の取組を進める中で、「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」を令和5年4月に制定しました。一方、中井やまゆり園では、これまでの不適切な支援の改善を図るため「県立中井やまゆり園当事者目線の支援アクションプラン」に基づき取組を進めているところです。私も県の福祉職として、中井やまゆり園の職員として、利用者お一人おひとりの当事者目線に立って、利用者が主体となった人生となるよう支援していきたいと思えます。

4月に配属されてから、園の利用者自治会である「ドーナッツ・グループ」の運営に努めてきました。昨年度までのドーナッツ・グループは、不定期開催で、限られた利用者の方が参加してきましたが、今年度からは、毎月決められた日（基本第3木曜日）に、全利用者が参加できるような場として開催することとしました。回を重ねるごとに、他の利用者の活動や園のイベントなどの話を聞き、自分の思いや希望を表される方が増えてきているように感じています。私たちも、利用者の皆さんが「こうであってほしい」「こうしたい」という意見を、しっかり園での生活に反映するよう努めてまいります。それと同時に、利用者の皆さん誰一人取り残すことがなく、皆さんの声なき声、内なる思い、期待、不安を理解し、寄り添っていけるよう、職員一同努めてまいります。

今年の夏は、例年以上の猛暑が続いています。利用者の皆様の体調管理にしっかり努めてまいりますので、ご家族の皆様もご自愛の上お過ごしください。